

ドア錠

1

丁番

2

スライド

丁番

3

開き戸

金具

4

引戸錠

5

引戸

金具

6

上吊式

引戸金具

7

移動

間仕切

金具

8

折戸

金具

9

室内用

アルミ建具

10

取手・

引手

11

スライド

ワイヤー

バスケット

12

収納・

吊金具

13

その他の

家具金物

14

物干金具・

諸金具

15

真鍮

アンティーク

16

設計

施工

ガイド

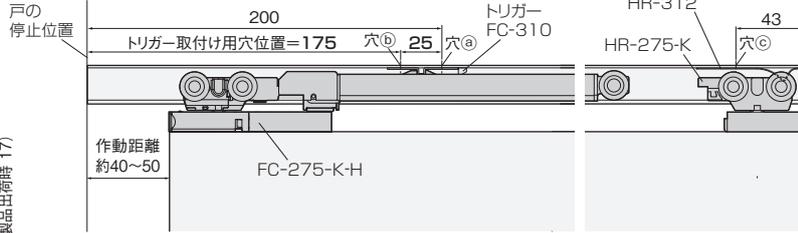
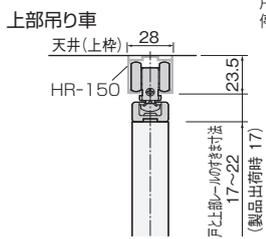
会社案内

使用条件

本文232ページをご参照ください。

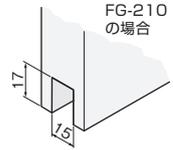
設計ガイド

■金具の納まり参考図

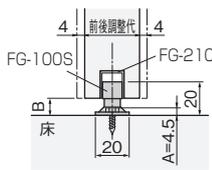


■戸の加工寸法参考図

下溝用ガイドレールの取付け加工寸法



下部ガイド



●戸の高さ寸法の求め方

戸の高さ = 枠の内寸高さ - 上部レールの高さ - 戸と上部レールの最大すきま寸法(左図参照) - 3mm - A
 ※上式で戸の高さを求めることにより、戸と上部レールのすきま寸法範囲で上下調整ができます。
 ※上部レールの高さは、HR-150(直付け用) = 23.5mm、HR-130(掘込み用) = 1.5mm(つばの厚さ)です。
 ※上式の3mmは、戸を下に調整した際、戸を下部ガイドに接触させないための逃げ寸法です。

●B(下すきま寸法)の求め方

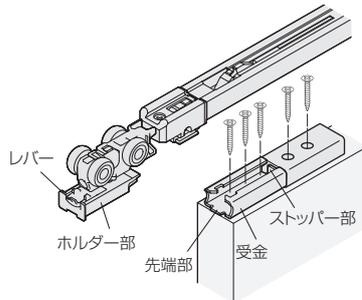
B = 枠の内寸高さ - 戸の高さ - 上部レールの高さ - 戸と上部レールのすきま寸法
 ※戸と上部レールのすきま寸法は、左図の範囲内で任意の寸法を設定できます。

施工ガイド

■金具の取付け方法

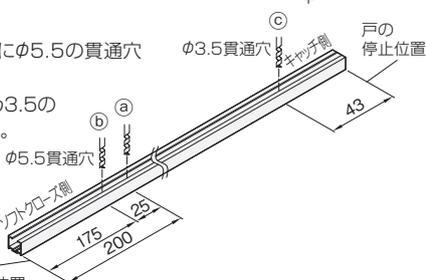
1. 上部吊り車の取付け

- ①ホルダー部のレバーを押して、ホルダー部と受金を分離します。
- ②右図のように引戸の上面木口両端部に受金の先端部をそろえて、ねじで取付けます。受金の向きは、ストッパー部分が戸の奥側になるようにします。



2. レールの穴あけ

- ①レール芯の所定位置◎◎にφ5.5の貫通穴をあけます(2ヶ所)。
- ②レール芯の所定位置◎にφ3.5の貫通穴をあけます(1ヶ所)。



ご注意

レール内に残った切り粉は、取除いてください。

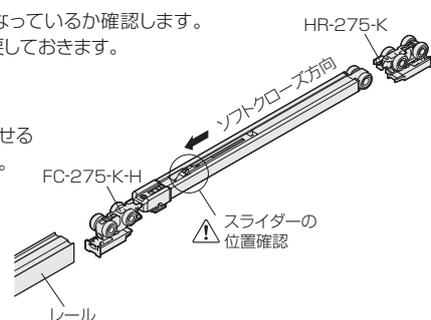
3. レールの取付け

- ①スライダーが図の位置になっているか確認します。なっていない場合は、押し戻しておきます。

ご注意

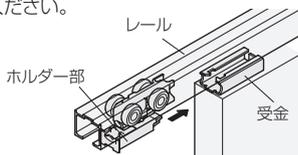
ソフトクローズを正しく動作させるために、必ず確認してください。

- ②レール取付けの前に、図の方向で上部吊り車をレール内に挿入します。
- ③上枠にレールを取付けてください。



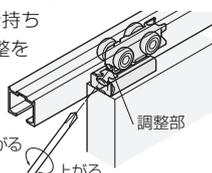
■戸の吊込み

- ①下部ガイドに戸の下部ガイド溝を差込みます。
- ②受金にホルダー部をしっかりと差込みます。
※しっかりと差込み、抜けないことをご確認ください。



■戸の位置調整

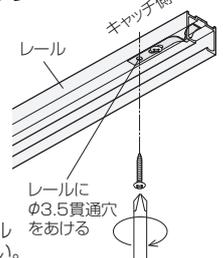
- ①戸を吊ったままで、吊車のねじを回すと戸の上下調整ができます。
※調整時に戸を持ち上げると、調整がしやすい場合があります。



※ソフトクローズの速度調整はできません。

■キャッチ固定ねじの本締め

- ①戸のキャッチ位置を決めて、キャッチを固定します。レールの固定穴位置にφ3.5の貫通穴をあけ、ねじ止めしてください。

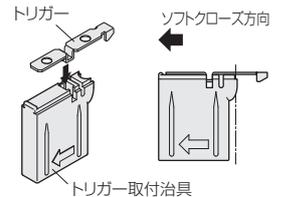


ご注意

レール内に残った切り粉は、レールクリーナーなどで取除いてください。

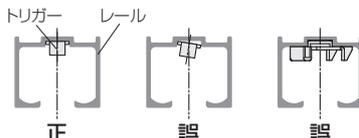
4. トリガーの取付け

- ①トリガーをトリガー取付治具にセットします。
- ②「2.レールの穴あけ」であけた穴◎に右記治具を図に示す方向でレール内部に押し込み、添付ねじでトリガーを固定します。



ご注意

- 治具はトリガーが完全に固定されるまで、押し当て続けてください。
- トリガーをレールに取付けたときにトリガーがレール内の溝にまっすぐ入るようにしてください。



- 必ず手回しドライバーで締め付けてください。
- トリガーが溝に入っていない状態でねじを締め付けると、トリガーが変形します。

- ③完全に固定されたら、取付治具を下に引き抜き、残りの穴◎をねじ止めしてください。

5. キャッチの仮固定

- ①「2.レールの穴あけ」であけた穴◎に、キャッチの長穴を合わせて仮固定します。もう一方の穴は、戸の位置調整が完了するまで固定しないでください。



6. 下部ガイドの取付け

- ①下部ガイドを床の所定の位置に取付けてください。垂直に戸が吊り込めるよう、取付け位置に注意してください。